

<報道発表資料>

令和8年3月18日
京都市総合企画局都市経営戦略室

京都市国際共創アンバサダーの創設

原田マハ氏（作家）とトム・マキナーニー氏（エンジェル投資家）を任命

この度、自身の活動を通じて、文化や産業をはじめとする京都の価値をグローバルに展開するとともに、新たな価値を創造することを目的とした、京都市国際共創アンバサダー（Global Co-Creation Ambassador, City of Kyoto）を創設し、2名の方に就任いただきます。

併せて、就任された原田マハ氏に、昨年12月に策定した今後25年間の京都のまちの基軸となる京都基本構想（以下、「基本構想」という。）が示す3つの価値（「歴史と文化の積み重ね」、「自然との共生」、「人とのつながり」）を、ひとりひとりの言葉で紡ぎつないでいく取組「千年千人プロジェクト」の一環である「KYOTO 1000 DIARY」に寄稿いただきます。

1. 京都市国際共創アンバサダーの就任

【京都市国際共創アンバサダーの目的】

京都市国際共創アンバサダーが自身の活動を通じて、文化や産業をはじめとする京都の価値をグローバルに展開するとともに、新たな価値を創造することを目的に設置するものです。

【任命日】

令和8年3月18日（水）

【就任する方】

- 原田 マハ 氏



<コメント>

「このたび、京都市国際共創アンバサダーに就任することとなり、大変嬉しく、また光栄に思います。
歴史と革新性の両面を兼ね備えた京都は、美しい佇まいと現代的な感性を合わせ持った比類ない街です。
尽きることのない京都の魅力を、京都市民の皆様と共に、世界へ向けて発信していく所存です。」

<略歴>

1962年東京都生まれ。関西学院大学文学部日本文学科、早稲田大学第二文学部美術史科卒業。伊藤忠商事株式会社、森ビル森美術館設立準備室、ニューヨーク近代美術館への派遣を経て、2005年『カフーを待ちわびて』で第1回日本ラブストーリー大賞を受賞し、2006年作家デビュー。2012年『楽園のカンヴァス』で第25回山本周五郎賞を受賞。2017年『リーチ先生』で第36回新田次郎文学賞を受賞。2024年『板上に咲く』で第52回泉鏡花文学賞を受賞。ほかの著作に『本日は、お日柄もよく』『たゆたえども沈まず』など多数。また、2019年には世界遺産・清水寺で開催された展覧会「CONTACT」の総合ディレクターを務め、美術館を訪ねる番組「原田マハの CONTACT ART」(WOWOW)にレギュラー出演するなど、日本・世界各地のアートと美術館の支援を続けている。

● TOM McINERNEY (トム マキナニー) 氏



<コメント>

「京都の歴史や美しさ、人々、そして豊かな自然に深く魅了されました。これらの大切な価値を守り続けるお手伝いができること、そして京都が未来の可能性や新しい機会を積極的に受け入れていくことに貢献できることを大変光栄に思っております。」

<略歴>

アメリカ人であるトム マキナニー氏は Apple のソフトウェアエンジニアとしてキャリアをスタート。その後 Sony の情報技術部門に加わり、黎明期にあった VAIO コンピューター事業に携わった。現在は東京を拠点とするテクノロジー投資家・起業家であり、ファミリーオフィス型の投資会社 TGM の創業者。これまでに世界で 120 社以上のスタートアップに投資し、初期投資先には、Notion、Segment、Dapper Labs、Clabhouse などが含まれる。また、SpaceX、Uber、Anthropic などの後期投資家でもある。現在トム氏は、文化・資本・先端技術の交差する領域で活動。京都の文化的遺産と世界のイノベーション・エコシステムをつなぐ国際的な連携や起業家交流の促進に取り組んでいる。

2. 原田マハ氏が「KYOTO 1000 DIARY」に寄稿

「KYOTO 1000 DIARY」は、京都に関わる多様な方々が、日々の営みの中で京都を感じる瞬間や京都への思いなどを日記として記録、発信することで、基本構想が示す3つの価値への気づきのきっかけを創出しています。

この度、美術や都市文化をテーマとした小説やキュレーション活動で知られ、国内外の文化都市の魅力を発信してきた原田マハ氏に寄稿いただいた日記を、公式インスタグラムで発信します。

- 日記タイトル 「いつだって、京都に来れば」
- インスタグラム発信日 令和8年3月18日（水）17時
- 公式インスタグラム URL <https://www.instagram.com/kyoto1000diary/>

<千年千人プロジェクトについて>

千年千人プロジェクトとは、構想期間である25年にとどまらず、次の千年に向け、京都でこれまで大切に育まれ伝え遺してきた、基本構想が示す3つの価値を、ひとりひとりの言葉で紡ぎつないでいく取組です。

「千人の視点を通して、京都の理想を千年先の未来へとつないでいきたい。」そのような思いで、本プロジェクトを進めています。

【今後の展開】

●共創イベントの開催について

基本構想の策定に関わっていただいた方々によるトークセッションや日記を通じた参加者同士の対話の場を設けます。

日時：3月28日（土）午後2時30分～午後5時（受付：2時から）

場所：京都産業会館ホール

申込 URL：<https://1000.city.kyoto.lg.jp/events/20260328/>

●特設サイトにおけるコンテンツの公開について

基本構想の策定過程における意見や本プロジェクトに関わった方を紹介するコンテンツを3月下旬に公開予定

URL：<https://1000.city.kyoto.lg.jp/>

<お問合せ先>

京都市総合企画局都市経営戦略室

電話：075-222-3030